

Question!

Q

今号にご登場いただいた
皆さまにうかがいました！

学ぶ「**学問**」をどのようにして選択されましたか？
その学問を学んだことについて、今思うことは？

私が選んだ
学問は
考古学

01

得意科目より 「好きなこと」を選択して進んだ道

茨城県立並木中等教育学校
中島 博司 校長

▶ P.12

学校が大好きだったので、中学の時から教師になると決めていました。高校の時の得意科目は数学と理科と社会で、苦手科目が英語と国語でした。そして高校2年生の時、大きな転換点が訪れたのです。

ある日、私は文理選択を前に担任に進路の相談に行きました。すると担任から「中島君は何が一番好きなの？」と聞かれました。私は思わず、その時に本を読んでいて興味があった「インカ帝国とマヤ文明です」と即答しました。すると担任が「じゃあ社会だね、先生になるなら好きなことを教えるのがいいよ」と。その時「自分は理系で、英語や国語は苦手なんです……」と抵抗しましたが、「じゃあ、これから勉強すればいいじゃないか」と言われ、ハツとしたのです。

そして文系を選択し、人文系の学部に進み、社会科の教師になりました。生徒は進路選択で悩むと思いますが、得意不得意ではなく、「将来何をしたいか、何が好きか」で選ぶことの大切さを身をもって実感したのです。

